



通信
arch-tsushin



OUR GRADUATION

vol.54

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 ヒューマンコミュニティ創成研究センター サテライト施設「のびやかスペースあーち」

開館時間 10:30~17:00 (金曜は19:00まで) ☆日月祝はお休み

〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通3-6-18 TEL/FAX: 078-805-6090 e-mail: zda@kobe-u.ac.jp または itoa@kobe-u.ac.jp

るるるんコンサート

出演 // るるるんリーダー
(幼稚園のママたちのグループ)

♪ 3月19日(金) PM 4~5
こらぼあーちに

♪ トトロなど子どもたちの大好きなうたや
しっとりクラシック音楽の演奏などを
します。

♪ 楽しいハロネリアターもあるよ。
(グレ-Xの音楽隊 他)

みんなまで みにぎてね

プログラム紹介

えんじえる君 by Bon

気をつけてあげてね part 2



“なだ桜まつり”

灘区恒例の春のお祭りに、今回も「あーち」は

“手づくりおもちゃ”と“リサイクルバザー”を出店します。

日時： 4月3日(土) 10:00~

場所： 都賀川

内容： 手づくりおもちゃ(ミニシリーズ) 午前・午後各50組様

午前： 高く遠くへ飛ぶミニスーパープレーン

小さくても飛んでもどってくるミニブーメラン

午後： ふわふわあがってついてくるふわふわミニ風

的によく当たるミニホーガン

そこで、お願いがふたつあります!

◆リサイクルバザーに出店する品物を、募集しています。

ご家庭で不要になった品物(できるだけ新品か新古品)を

「あーち」に寄付していただけないでしょうか?

◆リサイクルバザーの品物に値札つけのお手伝いも

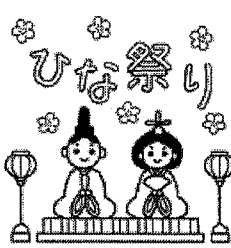
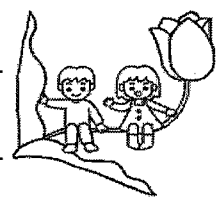
募集しています。少しのお時間でも参加OKですので、

皆さまのお力をお貸しください!

日時： 3月30日(火) 11:00~16:30

<詳細は受付スタッフまでお問い合わせください>

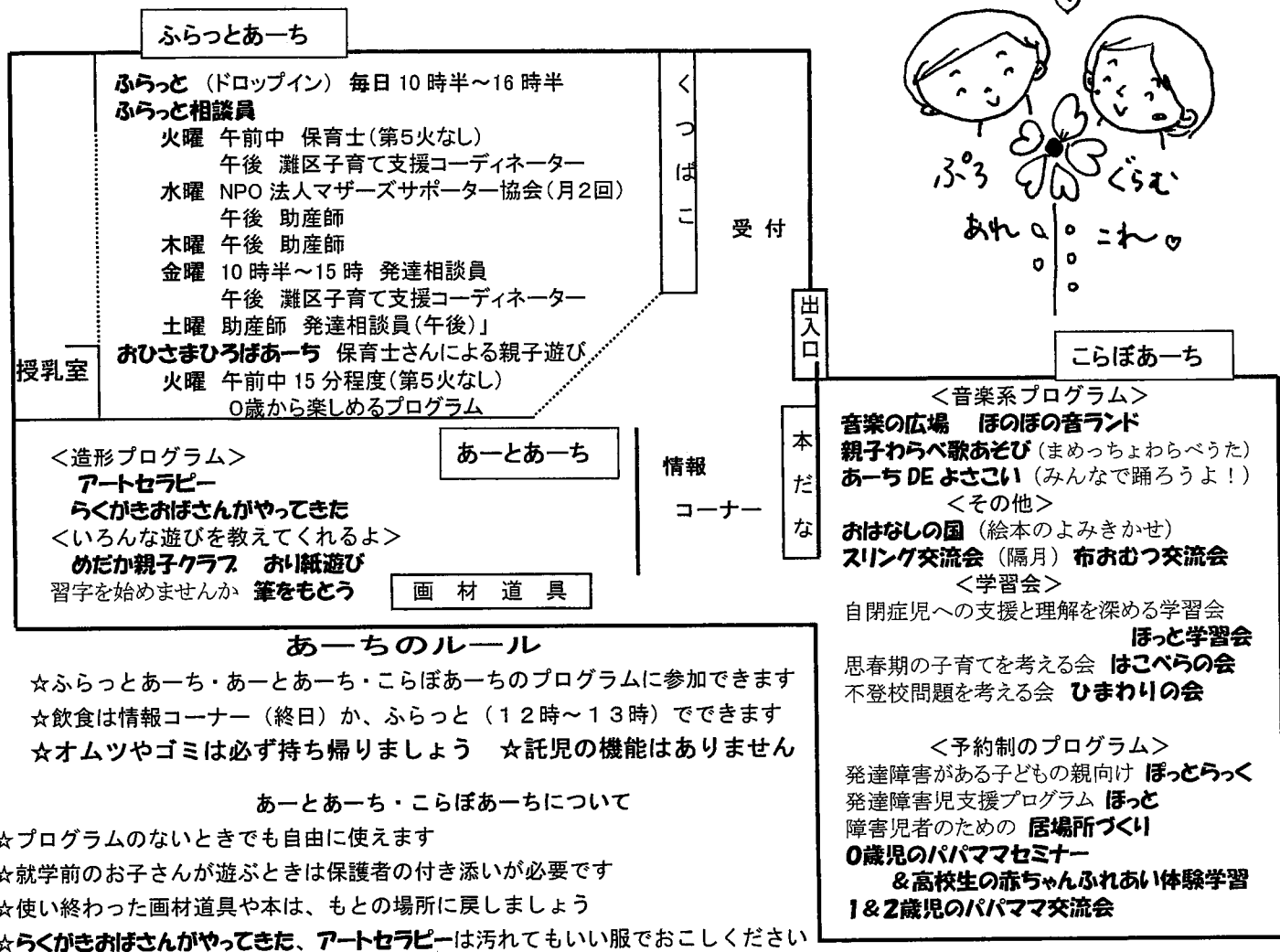
3月予定表

		こらほあーち	あーとあーち	ふらっとあーち	
1	月	休館			
2	火	博物館		おひさまひろばあーち 午前中	
3	水	博物館			
4	木	博物館			
5	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時			
6	土				
7	日	休館			
8	月	休館			
9	火	ほっと（予約制）10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中	
10	水	ほのほの音ランド 11時20分～ あーち連絡協議会 3時～5時	おりがみあそび 2時30分～		
11	木	ひまわりの会 10時30分～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～			
12	金	居場所づくり（出張・めだか親子クラブ）3時～6時			
13	土	1・2・3歳児のパパママ交流会 1時30分～3時		人形劇 2時～3時	
14	日	休館			
15	月	休館			
16	火	ほっと（予約制）10時30分～ 終日		おひさまひろばあーち 午前中	
17	水	みんなで歌おう！ 10時30分～	あーち通信編集会議 10時30分～		
18	木	ほっと学習会 10時40分～12時10分		ベビーマッサージ11時～（はいはい頃）	
19	金	はこべらの会 10時30分～1時 居場所づくり 3時～6時 るるんコンサート 4時～5時	アートセラピー 3時～5時		
20	土	ぽっとらっく（予約制）		紙芝居 11時～	
21	日	休館			
22	月	休館			
23	火	ほっと（予約制）10時30分～ 終日		おひさまひろばあーち 午前中	
24	水			おしゃべりほっとタイム 11時～	
25	木		筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～	ベビーマッサージ11時～（ねんね頃）	
26	金	みんなで歌おう！ 10時30分～ 居場所づくり 3時～6時	らくがきおばさんがやってきた 3～5時		
27	土	音楽の広場 1時30分～3時 おはなしの国 3時～			
28	日	休館			
29	月	休館			
30	火	ほっと（予約制）10時30分～ 終日	なだ桜まつり準備 11時～（終日）	おひさまひろばあーち 午前中	
31	水			布おもつ交流会 11時～	

- ・プログラムは都合により変更することがあります。ご了承ください。
- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・どのプログラムも参加（見学）することができます。
- ・プログラムへの参加年齢の制限はありません。
- ・詳しくは受付までお問合せください

予約制は事前に
確認してから
参加してね♪





“ソロプチミスト六甲文庫” の紹介

すでにお気づきの方もいらっしゃると思いますが、この度(2009年12月)、国際ソロプチミスト六甲さんから「あーち」に書棚と絵本のご寄付をいただきました。「ふらっと」の畳コーナーの壁に素敵な文庫ができました。お子様だけでなく保護者の方、ボランティアの方、「あーち」を利用してくださる皆さま、ぜひ一度、絵本や育児に関する本を手にとってごらんください。陽だまりの中、ゆっくりと本の世界をお楽しみください!

のんびりママ隊 no.26

日ざしが強くなってきて…本格的な春までもう1歩！
今月はお家でのんびり楽しめる、ママ向けの本を紹介します。
図書館で借りられるものもあるので、気が向いたらぜひ☆

あかちゃんのドレイ。

大久保ヒロミ／講談社

えー、マンガです。それも1話ずつ読み切りのエッセイマンガ。それだけに、育児中の細切れの自由時間にちょこちょこ読むのにうってつけ。絵が少女マンガなので好き嫌いあるかも…ですが、中身はホンネばかりで大爆笑！胎児→新生児→乳児→幼児とほぼリアルタイムで描かれたようで、自然と時系列で成長を追うことになり、意外と(?)育児参考書にもなりました。

しかしですね。子どもが小さいころはひざでおっぱいあげながら、その上で本を広げていた私(だって息子、1時間とかフツに飲んでたんだもん)。せっかくウトウトしかけた子を、何度吹き出して起こしたことか！この破壊力には注意が必要です。

そして1巻の帯にあった「子ども生まれたらドレイになるって、育児書とかに書いていてよ!!」は、名言だと思います…。「戦力外」なダンナさんを持つママのストレス解消に、特にオススメ☆

ベリーショーツ

よしもとばなな／東京糸井重里事務所

作家よしもとばななの、気楽に読めるエッセイ集。もとはブログが何かだったかな？もう「赤ちゃん」を過ぎ、言葉を発しはじめたころの息子さんとのエピソードがいろいろ出てきます。

…これがねえ、おかしいです。オットにも読ませたらハマってしまい、今でも時々言うんですよね、『じゃいぼーぐ!』って。お願いだからそれ、うっかり仕事場で出ませんよーに…。

育児バビデブー

おぐらなおみ／辰巳出版

またマンガですみません。また「もとはネット」ですみません。ですがこれも、とりわけストレス解消度が高い一品だと思います。すでに幼児&子どもである2人のお子さんとの生活を、こっそり描きこんであって、もう爆笑。いったい子どもって、どこの子もフツにこんなにおかしいのか、それとも日常から「事件」をすくいあげるこの作者さんがすごいのか。

『笑ったら、負け』ーちゃんと叱るところで思いがけない行動されて、吹き出しそうになること…あるある。というか、息子が1歳8カ月のころかな？怒られても笑わせてごまかすことを覚えて、「負け」っぱなしだったかも…。そして彼の成長が、もうすぐ来るであろう反抗期をふくめ、けっこう楽しみになった私です♪

「困ったちゃん」の育て方

汐見稔幸(監修)/小学館

どうしてポイポイ投げるの？うっわー、食べ物ぐちゃぐちゃにしないで～。我が息子、決していたした「困ったちゃん」ではない(と思う)のですが、やっぱり「なんでそんなことすねん!？」なことも色々やってくれます。言っても言っても聞かやしないしいい。

と、日々つのるイライラ度を少し下げてくれたこの本は、何かひとつの事件に対し「子どもになったつもりで"日記"を書いてみる」ことを提案します。

例えば「ティッシュ箱から全出し事件」なら…『おもしろーい！なにこれ、白くてふわふわ気持ちいいものが、どんどん出てくるよ〜♪』とか。

そーすると、よく育児書なんか書いてある(けどできない)"子どもの立場になって考える"ことが、知らないうちにできちゃうよ〜、というわけです。

で、子どもの気持ちが何となく見えたら、たいていのことは「しょーがないなー」って思えて…少しだけ気の長いママになれたような気がします。

赤ちゃんがピタリ泣きやむ魔法のスイッチ

ハーヴェイ・カーブ／講談社

よく泣く赤ちゃん(特に3カ月までの)を上手に泣きやませるコツを解説した本です。

いやー息子はホントによく泣く赤ん坊でした。とにかく抱っこしていないと、ほぼ泣きっぱなし。寝たと思ってベッドに降ろすと、100%気づいて目を覚まし、泣く泣く泣く。一時は私が一緒に泣いてました。

そんな私を気持ちだけでも救ってくれた本です。気持ちだけでもって言うのはつまり、どの「スイッチ」押そうが、10回に7回は役に立たなかったからですが(笑)。でもそれは息子の場合で、友人の子はこれでバッチリ泣きやんだそうです。いいなあ。

さてこの本、ちょっと訳文調なので読みづらいかもしれませんが、でも何というか、とっても「優しい」んです♡「おかあさん、頑張ってるね。よくやってるね。ひとりで抱えなくて、いいんだよ」そんな著者の言葉が、行間から聞こえてくるようで…ひとりきりガチガチに頑張っていた私は、すこーし肩の力を抜けたのでした。

今年度も多くの学生が「ふらっと」で活動や交流をさせていただきました。

3月に卒業する学生の感想の一部を紹介します。

☆様々なプログラムに参加していろんなことを感じました。その中で一番思ったのは、決まった子育てはないということです。子どもによって個性は違うし、親も自分が負担だと感じない程度に臨機応変に子どもと接していくことが大事だと思いました。親が子どものことを真剣に考え試行錯誤していく中で、子どもと共に学んでいくことが大事なんだと思いました。皆さま、1年間大変お世話になりました。ありがとうございました☆

(経済学部4回生 平塚)

